

「学習者の視点から授業を考える」

【中学校】初任者研修に係る校外研修「授業参観」 令和4年10月22日

○目的

令和4年度初任者研修の対象者に対し、授業参観及び授業づくりに係る研究協議を通して、実践的指導力の向上に資する。

【当日の流れ】

- ①授業VTR視聴
- ②研究協議「学習者の視点から考える授業の現状・理想・課題」



①主体的な学び手

研修の中で、受講者である自分たちの姿が主体的であったか
→授業での生徒たちの姿と関連付けてみる

②単元構想

単元を終えるとき、生徒は何ができるようになるか。生徒のゴールの姿からも単元を構想してみる。



授業の概要

受講者の学び(「研修振り返りシート」より)

【VTR】 教育庁チャンネルより(2017)
数学 中学校第2学年

- 単元名 「三角形」
- 単元目標
 - ・証明の必要性和意味及びその方法について理解することができるようにする。
 - ・三角形の基本的な性質を具体的な場面で活用できるようにする。
- 本時のねらい
 - ∠A=∠Bである△ABDについて、三角形の合同条件や二等辺三角形の性質を関連付けて考えることを通して、DA=DBであることを証明することができるようにする。
- 本時の評価規準
 - ∠A=∠Bである△ABDについて、三角形の合同条件や二等辺三角形の性質を関連付けて考えることを通して、DA=DBであることを証明することができる。(フローチャート)

■教師の立場から考えて仕組んだ発問の仕方や手立てが、生徒の立場から見直すと、わかりにくいものになっていたことに気付かされた。

■どうしても教師側の視点ばかりから授業構想をしていたので、今後は学習活動における生徒の姿がどうあるべきかという視点も持ちたい。

■これまでの自分が、単元のつながりや1単位時間のつながりを考えて授業構想を行ってきたかどうかということを振り返ることができた。

■教科の特質と生徒の現状をふまえながら、生徒の思考を奪ってしまわないように思考ツールを与えることが大切であると思った。

■自分の授業スタイルを振り返る機会になった。生徒の立場からの授業展開や既習事項の振り返りが不十分であったと反省した。生徒の視点からも単元計画や授業構想を見直していかうと思う。

■自分自身、授業で生徒の目指す姿を意識して授業を行っているが、「主体的である」ということは、「授業中に生徒の活動が多ければよい」ということではないことがわかった。

■本日は生徒の目線で協議できたことが、今後の自分の授業構想に大いに役に立つと実感できた。自分の授業では、どの生徒に対しても丁寧に目を向け、生徒の思考を大切にしていきたいと思う。

■授業を受ける側(生徒)の立場に立って、何を学ぶのか、何ができるようになるのかが明確な単元構想をしていきたい。